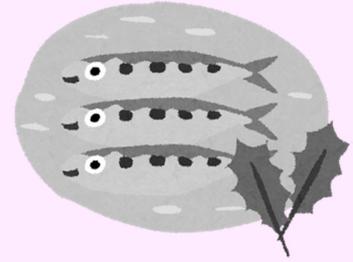


# ふいるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



ふんわりとやわらき雪の掛布団

西岡町 渋谷 みさ子

娘の気持胸にしみつ初電話

西岡町 岸波 君江

万歩計腰にたずさえ雪を掻く

西岡町 金澤 頼子

初電話父の待てりを母取りぬ

西岡町 杉浦 とし枝

冬日和一人を映す三面鏡

仲岡町 坂部 和子

ドキドキのライン面会大晦日

藤本町 鈴木 ゆき子

手作りの記憶なつかし注連飾

西原町 児玉 久美子

ヌクして亡夫の知らざる世を生きん

元岡町 印牧 安子

義母の忌は口で自粛寒椿

西岡町 高瀬 久美子

口で禍や孫も来なくて寝正月

南桜町 宮腰 幸子

在りし日を偲ぶ通夜の冬木立

元岡町 西崎 弘子

包丁に吸い付いてくる寒の餅

東岡町 高橋 世津子

僧と和す般若心経初明り

緑岡町 池田 良子

初電話スホの中で母笑う

仲岡町 梅基 文子

新しき手帳に抱負今年こそ

西岡町 文梨 清子

若井汲む掌たなこらし九十の譜

仲岡町 玉野 研一

子等帰り夜のしじまの初日記

旭岡町 大河 博子